

個別技術シート集 (合計183シート)

別紙7の概要

共同住宅の再生に資する調査・診断技術、改修技術を各分野から収集し、技術の概要、住宅のタイプと適用できる技術、技術が適用できる建物の部位、足場設置の要否等の情報をそれぞれシートにとりまとめた。

改修技術(合計150シート)

性能分野	技術数
耐久性・耐用性	43
環境・省エネ	52
耐震性	19
防災性	19
高齢者対応	17

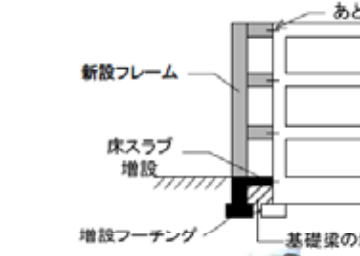

調査・診断技術(合計33シート)

性能分野	技術数
耐久性・耐用性	19
環境・省エネ	13
耐震性	1

国土交通省・持続可能社会における既存共同住宅ストックの再生に向けた勉強会

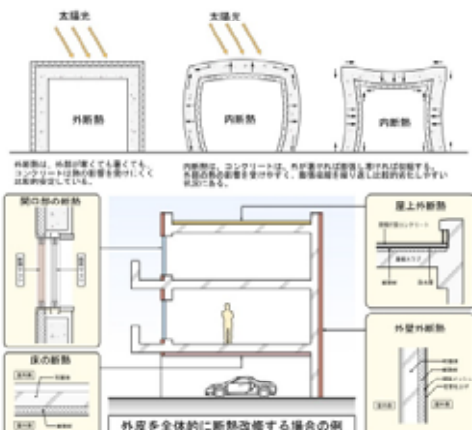
最終更新日 H24.10.00
改修技術 No. 13101402

個別技術シートの一例

性能分野	耐震性
大分類	耐震性の向上
中分類	強度型の補強 [外側改修]
技術の名称	外付けフレーム増設工法 (建物外部の補強)
<ul style="list-style-type: none"> 既存建物の柱・梁フレームの外側にフレームを新設することにより、建物全体の耐震性を向上させる。 既存建物と新設フレームとの接合は、床スラブ 既存の基礎の状況等により、基礎の補強とし 補強フレームが高さ制限などに影響するので 新設スラブの形状によっては床面積の増加と 雨掛りの箇所には鉄骨部材を用いる場合は定規 	
	
	
(写真出典: 既存共同住宅の多世代利用化に向けた... (案))	

国土交通省・持続可能社会における既存共同住宅ストックの再生に向けた勉強会

最終更新日 H24.10.00
改修技術 No. 12101203

性能分野	環境・省エネルギー性能
大分類	断熱性の向上
中分類	躯体の断熱性の向上 / 外壁の外断熱の向上
技術の名称	外壁外断熱工法 (乾式通気層外断熱工法)
<p>【改修工事の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外壁の外部側に断熱層を設けることにより、日射による蓄熱や室温変化、内外温度差により発生する結露および結露によるカビの発生を低減する。断熱と共に熱応力低減による躯体保護、耐久性の向上にも効果がある。また、躯体蓄熱の低減によるヒートアイランド現象の緩和にも効果がある。 外断熱工法には、ピンネット押え外断熱工法、乾式密着外断熱工法、乾式通気外断熱工法、湿式密着外断熱工法がある。 	
	
<p>【各工法の特徴】</p>	